

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372600615
事業所名	グループホーム 寿宴

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 町内会に加入し、地域の防災訓練や寄り合い、敬老会、祭礼などに参加して交流を深めている。恒例の夏祭りには屋上を開放し、近隣の方を誘って花火を楽しんでいる。認知症カフェでは、地域の有志ボランティアによる余興や体操、認知症についての相談など楽しみながら参加できるようにして地域のコミュニティとしての役割を担っている。小中高校生のボランティアや介護体験も受け入れ、高齢者を地域で支え合うことの大切さを学ぶ場の提供をしている。らん伴に入居者も参加してタスキをつなぐ交流もしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 家族、区長、福祉会会長、老人クラブ会長、有識者、西部高齢者相談センター職員、他事業所職員の参加を得て年6回実施している。事業所の運営状況や活動内容の報告を、写真やビデオを利用してわかりやすく紹介したり、防災、防犯や夏祭りなどについて話し合ったりしている。参加者からの情報や意見、提案などは、サービスの向上に活かしている。家族には毎回案内を出し、寿苑新聞などでお知らせしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 認定調査の更新時や定期的な報告、制度等の相談を通して市の担当者と良好な協力関係を築いている。社協と共同で認知症サポーター養成講座や婦人会等で講師を務め地域に貢献している。市主催の研修会には積極的に参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 入居者からは日々のケアの中で意見や意向を聞くようにしている。家族からは、訪問時や行事の折に職員が声をかけて聞くようにしている。また、法人で半年に1回サービス内容や職員の対応などについてアンケートを実施し、結果は家族に報告している。改善点は会議で検討して運営に反映させている。各階に意見箱を設置して意見が述べ易い環境を整えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○